

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number : 56-043086

(43) Date of publication of application : 21. 04. 1981

(51) Int. CI. B63B 17/04
B63B 5/24

(21) Application number : 54-121297 (71) Applicant : YAMAHA
MOTOR CO
LTD

(22) Date of filing : 19. 09. 1979 (72) Inventor : MIWA JUNJI

(54) BODY CONSTRUCTION OF SMALL SHIP

(57) Abstract:

PURPOSE: To prevent a wave from dashing on the deck of a ship at its sailing, by providing strut insertion pipes in the inside of bulwarks, erecting struts not at work and removably mounting insertion boards to grooved parts on both sides of the strut and on top faces of the bulwarks.

CONSTITUTION: In a small sized fishing boat made of Fiber Reinforced Plastics (FRP), strut insertion pipes 8 are secured in the inside of bulwarks 2 to form a frame, and struts 6 are vertically provided in said pipes 8, and insertion boards 7 are removably mounted to grooved parts formed on both sides of the strut 6 and on top faces of the bulwarks 2. At work for drawing up and down a net, the insertion board 7 is removed to perform an easy work, while at normal sailing the insertion board 7 is mounted to prevent a wave from dashing on a deck.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C) ; 1998, 2003 Japan Patent Office

⑨ 日本国特許庁 (JP) ⑩ 特許出願公開
 ⑪ 公開特許公報 (A) 昭56-43086

⑫ Int. Cl.³
 B 63 B 17/04
 5/24

譲り記号

序内整理番号
 7270-3D
 7721-3D

⑬ 公開 昭和56年(1981)4月21日
 発明の数 1
 審査請求 未請求

(全 4 頁)

⑭ 小型船舶の船体構造

浜松市吉人見町1538番地の37

⑮ 特 願 昭54-121297
 ⑯ 出 願 昭54(1979)9月19日
 ⑰ 発明者 三輪準治

⑪ 出願人 ヤマハ発動機株式会社

磐田市新貝2500番地

⑫ 代理 人 弁理士 小谷悦司 外1名

明細書

1. 発明の名称

小型船舶の船体構造

2. 特許請求の範囲

1. ブルワードの内側にパイプを留着させると
 によってフレームを形成し、このフレーム内に
 上部から支柱の下部を差し込み、支柱上部には
 滑を設けると共にブルワード上部に滑を設け、これ
 らの間に差し板を嵌入させたことを特徴とする小
 型船舶の船体構造。

3. 発明の詳細を説明

この発明は小型船舶の船体構造の改良に関する
 ものである。

小型船舶でデッキ上で頭の上げ下ろし等の作業
 をするものでは、作業性の点からブルワードは
 短い方がよく、また航行時はデッキ上に波が打ち
 上げられるのを防止するためブルワードは高く
 することが望ましい。そしてこの目的を達成する
 ためにはブルワード上に差し板を取付けることが
 考えられるが、このばあい差し板の取付けは強固

でしかも着脱が容易に行なわれるものでなければ
 ならない。

この発明はこのような目的の達成のためになさ
 れたものであり、ブルワードの内側にパイプでフ
 レームを構成し、このフレームに支柱をたてて差
 し板を支持するようにしたものである。

以下、この発明をアリド製の小型船舶に適用し
 た実施例を図面によって説明する。図1図2において、1は船体外板、2はブルワード、3は防波材、
 4はデッキ、5はガンキル、6は支柱、7は差し
 板、8はパイプフレーム、19は底板、20は船
 尾ブルワード、70は船首ブルワードである。ブル
 ワード2の内側には、図2～5図に示すように
 ガンキル5とデッキ4との間にパイプ82を配管
 すると共にこれをアリドの板板81でブルワード
 2およびガンキル5に斜して固定させ、パイプフ
 レーム81を形成させる。このパイプフレーム81は
 上部に開口部80が形成されているので、ここか
 ら支柱6を納入させる。またこの支柱間のガンキ
 ル5上には図8図に示すように防波材6をボル

14日によって取付け、その図67と支柱6の構60とに差し板7を嵌入させることによって取付ける。船首アルワーク7の、第7図に示すように、船首ガンキル5の形状に沿わせてねじり半形状一体化形成すると共に内方に開口部75を設け、その孔74にボルト73を通して取付けることによって固定させている。この船首アルワーク7にに対してその図面71に沿うように船部材66を取付け、ボルト73で固定させる。そしてこの部分では差し板7を上にガンキル5にそれぞれ突起76、76を設け。これらはガム質のストッパー77を組合せして差し板7の抜け止めをすればよい。船底アルワーク20の側の差し板もこれと同様に取付ければよい。

差し板用の溝は、船部材66を取付けることによって形成させなくても、第9図に示すように、ガンキル5および船首アルワークの端面自体に溝67を形成させてもよい。また第10図に示すように防舷材51をガンキル5上に設するよう形状させ、その上面に差し板用の溝67を形成させ

- 3 -

特開昭55-43086(2)
てもいい。このようにすると防舷材の取付けの際に同時に差し板が取付けられることになるので作業が容易になる。

このようにして差し板7を取付けると、アルワークが高くなるので航行中はデッキ上への波の打上げを防止することができ、またデッキ上で作業する際に差し板がしづきや風を防ぐ役目を果す。またデッキ上で脱上部等の作業をする際には差し板7および支柱6を外せばよい。支柱6を外した際には第4図に示すように開口部8日にヤシレバ88を取付けるようすればよい。またパイプ82内に侵入した水を排出させるため、パイプの丁番には适宜の小孔を形成させておく。

またパイプフレーム6は、第11図に示すように、支柱6の代りに開口部80から逆形の脚59を差し込んで逆形を組むための支持部として利用することも可能である。

このように、この発明はアルワークの内側にパイプフレームを形成し、これに対して差し板用の支柱を取付け。かつ支柱間に差し板を着脱可能に

- 4 -

取付けたものであり、簡単な操作で差し板を簡単に保護することができる。しかも差脱も容易に行なうことができる。なお、差し板としてはガリエチレンまたはガリスチレン等の板材を用いると底水栓がかいため遮蔽せず、また軽いをため船の重心が高くなりならないという利点がある。

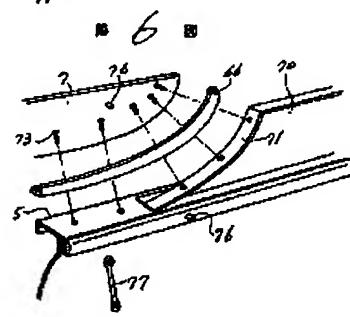
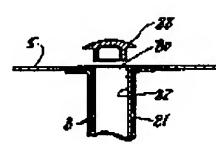
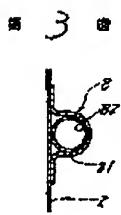
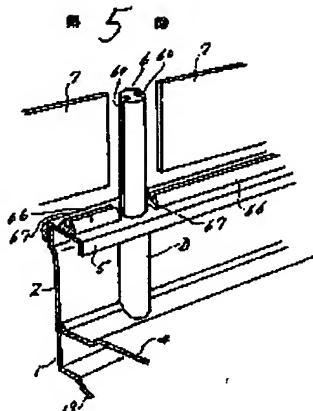
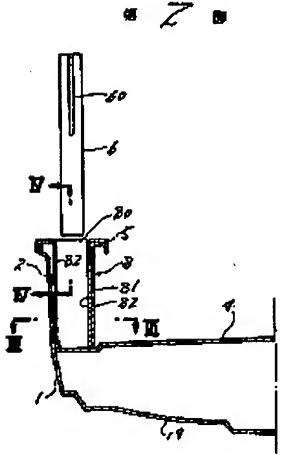
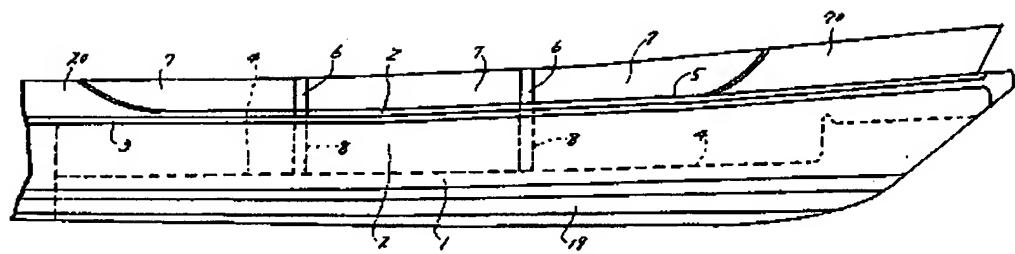
4. 図面の略歴を説明

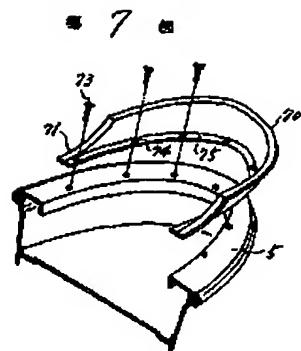
第1図はこの発明の実施例を示す概要図、第2図はパイプフレーム部や部分構造断面図、第3図は第2図のヨー管構断面図、第4図はヨー管構断面図、第5図は差し板取付け部の分解斜視図、第6図は船首アルワークの分解斜視図、第7図は船首アルワークの分解斜視図、第8図は差し板取付け部の横断面図、第9図は差し板用溝の他の例を示す斜視図、第10図は船部材の他の例を示す横断面図、第11図はパイプフレームの他の使用例を示す説明図である。

1 - 船首材、2 - アルワーク、4 - デッキ、5 - ガンキル、6 - 支柱、7 - 差し板、80 - 88 - ヨー管、96 - 船部材。

- 5 -

43086(3)





NA0866- 43086(4)

